

医療機関の具体的な対応方針（東部構想区域）

○東部構想区域の現状

医療機能	現状			プランを反映		
	必要 病床数	病床機能 報告 2017	差	必要 病床数	病床機能 報告 2025	差
高度急性期	607	585	△22	607	881	274
急性期	1,853	3,474	1,621	1,853	3,116	1,263
回復期	1,698	604	△1,094	1,698	800	△898
慢性期	1,093	1,331	238	1,093	1,356	263
休棟中		450	450		219	219
計	5,251	6,444	1,193	5,251	6,372	1,121

○公立・公的病院等

病院名	病床機能報告 (2017年)		プラン (2025年)		プランによる影響
香川県立白鳥病院	急性期	150	急性期	150	・プランによる病床機能の変更なし。
	計	150	計	150	
さぬき市民病院	急性期	139	急性期	139	・プランによる病床機能の変更なし。
	回復期	36	回復期	36	
	計	175	計	175	
香川県立中央病院	高度	34	高度	46	・休棟中から高度急性期に 12 床 (HCU) 転換する。 ・休棟中から急性期に 13 床 (緩和ケア) 転換する。
	急性期	467	急性期	480	
	休棟中	25			
	計	526	計	526	
高松市立みんなの病院 (旧高松市民病院)	高度	8	高度	8	・新病院建替 (H30.9.1 開院) に伴い、 休棟中 54 床を解消し、回復期に 48 床転換、総病床数 12 床減床する。
	急性期	249	急性期	243	
	休棟中	54	回復期	48	
	計	311	計	299	
高松市民病院 塩江分院	慢性期	87	検討中	検討中	・病床機能の検討中。
	計	87			
高松医療センター	急性期	60	回復期	60	・急性期から回復期に 60 床転換する。
	慢性期	160	慢性期	160	
	計	220	計	220	
香川大学医学部附属病院	高度	312	高度	587	・急性期から高度急性期に 269 床転換する。 ・休棟中から高度急性期 6 床に転換する。
	急性期	269			
	休棟中	6			
	計	587	計	587	

病院名	病床機能報告 (2017年)		プラン (2025年)		プランによる影響
高松赤十字 病院	高度	209	高度	218	・病棟建替（2020年完了予定）に伴い、休棟中79床を解消し、高度急性期に9床、急性期に10床転換し、総病床数を60床減床する。
	急性期	288	急性期	298	
	休棟中	79			
	計	576	計	516	
香川県済生 会病院	急性期	148	急性期	148	・プランによる病床機能の変更なし。
	慢性期	50	慢性期	50	
	計	198	計	198	
屋島総合病 院	高度	10	高度	10	・プランによる病床機能の変更なし。
	急性期	216	急性期	216	
	回復期	53	回復期	53	
	計	279	計	279	
りっりん病 院	急性期	120	急性期	120	・プランによる病床機能の変更なし。
	回復期	79	回復期	79	
	計	199	計	199	
K K R 高松 病院	高度	6	高度	6	・急性期から回復期に46床転換する。
	急性期	173	急性期	127	
	計	179	回復期	46	
かがわ総合 リハビリテ ーション病 院	回復期	38	回復期	80	・病棟建設（H30.3.1新病棟運営開始）に伴い、休棟中67床（病床機能報告漏れ）を解消し、回復期に42床、慢性期に25床転換する。
	慢性期	79	慢性期	104	
	休棟中	67			
	計	184	計	184	

○構想の方向性に沿う具体的対応方針

- ・高松市立みんなの病院
- ・高松医療センター
- ・高松赤十字病院
- ・K K R 高松病院
- ・かがわ総合リハビリテーション病院

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等																														
①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割	2025年における役割																														
	がん	脳卒中	疾患心血管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅																				
	○		○	○		○	○	○		○	○																				
②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数	※プラン等に記載された今後の役割について該当する項目に「○」を御記入ください。																														
	<p>・第3次県立病院中期経営目標（平成28年3月策定、新公立病院改革プランとして位置付け）において「白鳥病院は、循環器医療の一層の充実や、新しい治療法への取組み、高齢化を踏まえた治療の提供等を図るとともに、二次救急医療、小児医療、へき地医療に取り組み、地域包括ケアシステムの構築に積極的に参画することにより、『特色ある地域の中核病院』としての役割を担う」とされている。</p>																														
	<p style="text-align: right;">(床)</p> <table border="1" data-bbox="411 1070 1359 1220"> <thead> <tr> <th></th> <th>高度急</th> <th>急性期</th> <th>回復期</th> <th>慢性期</th> <th>休床</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td></td> <td>150</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td></td> <td>150</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>												高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計	現在		150				150	2025年		150			
	高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計																									
現在		150				150																									
2025年		150				150																									
③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保(※)	(考え方)																														
	<p>・大川保健医療圏における公立病院はさぬき市民病院と白鳥病院の2つであり、特に二次救急において白鳥病院は重要な役割を果たしていることから、今後とも急性期を担う必要があると考えている。しかしながら、地域包括ケアシステムの構築に積極的に参画するべく、平成29年11月に地域包括ケア病床を16床開設しており、今後の医療需要等を踏まえつつ医療機能ごとの病床数を検討してまいりたい。</p>																														
③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保(※)	(今後の方向性)																														
	<p>・該当なし</p> <p>(地域医療構想との整合性の確保)</p> <p>・</p>																														

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。

(平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休床中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等																																
①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割	<p>2025年における役割</p> <table border="1" data-bbox="411 450 1378 622"> <thead> <tr> <th>がん</th> <th>脳卒中</th> <th>疾患心血管</th> <th>糖尿病</th> <th>疾患精神</th> <th>救急</th> <th>災害</th> <th>へき地</th> <th>周産期</th> <th>小児</th> <th>在宅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※プラン等に記載された今後の役割について該当する項目に「○」を御記入ください。</p> <p>・救急医療、災害医療、へき地医療などの政策的医療を提供するとともに、東讃地区における急性期から回復期までの一般診療を提供しつつ、地域に密着した地域を支える医療を展開していくことが当院の果たすべき役割と考える。</p>											がん	脳卒中	疾患心血管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○
がん	脳卒中	疾患心血管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅																							
○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○																							
②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数	<p style="text-align: right;">(床)</p> <table border="1" data-bbox="411 949 1353 1099"> <thead> <tr> <th></th> <th>高度急</th> <th>急性期</th> <th>回復期</th> <th>慢性期</th> <th>休床</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td></td> <td>126</td> <td>36</td> <td></td> <td>13</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td></td> <td>139</td> <td>36</td> <td></td> <td></td> <td>175</td> </tr> </tbody> </table> <p>(考え方)</p> <p>・香川県地域医療構想に示す2025年の必要病床数を意識した上で、平成28年7月から、急性期病床のうち36床(1病棟)を回復期病床に機能変更し運営しており、平成29年度における稼働病床に対する病床利用率は91.5%であった。</p> <p>現在は、休床となっている13床における利用開始の時期を見計らっており、2025年に向けては、現状の規模・機能で運営していく予定である。</p>												高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計	現在		126	36		13	175	2025年		139	36			175	
	高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計																											
現在		126	36		13	175																											
2025年		139	36			175																											
③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保(※)	<p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>(地域医療構想との整合性の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 																																

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。

(平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休床中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等											
①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割	2025年における役割											
	がん	脳卒中	疾患 心 血管	糖尿 病	疾精 患神	救急	災害	へき 地	周 産 期	小 児	在 宅	
	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数	(床)											
		高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計					
	現在	46	467			13	526					
	2025年	46	480				526					
③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保(※)	(今後の方向性)											
	<ul style="list-style-type: none"> ・非稼働病棟は、緩和ケア病棟(13床)である。現在、看護師の確保・育成に努めており、来年10月頃に開設予定である。 											
	(地域医療構想との整合性の確保)											
	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養を担う医療機関と連携して地域全体の緩和ケアの充実を図っていく上で、緩和ケア病棟は、必要な機能と考えている。 											

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。

(平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休床中、休床後の再開の予定なし、休床・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等										
①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割	2025年における役割										
	がん	脳卒中	疾患心管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅
	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	
※プラン等に記載された今後の役割について該当する項目に「○」を御記入ください。											
△は積極的ではないが、取り組んでいきたい項目です。											
<ol style="list-style-type: none"> 1 医療機関の自主的な取組と相互協議の推進 <ul style="list-style-type: none"> →急性期医療機能の充実と地域包括ケアの後方支援 2 病床機能の分化及び連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> →みんなの病院：再編・ネットワーク化による112床の削減 (増減率73.1%) 3 在宅医療等の充実 <ul style="list-style-type: none"> →地域包括ケア病棟の開設による在宅復帰支援 4 医療従事者の確保・養成 <ul style="list-style-type: none"> →(1) 若手医師の定着促進 <ul style="list-style-type: none"> ・医学部学生等の実習や見学など受入体制の充実 ・臨床研修病院機能の充実 (2) 看護職員の養成、離職防止及び再就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・実習生等の積極的な受入れ (3) 医療従事者の働きやすい環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務の縮減による過重労働の防止 ・院内保育所の設置 5 その他 <ul style="list-style-type: none"> →(1) 地域医療支援病院の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療の推進 ・病診連携体制の推進 (2) がん診療の強化推進 (3) 災害医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点病院の承認 											

②2025年に 持つべき医 療機能ごと の病床数		高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計
	現在※1	8	197	40		66	311
	2025年※2	8	243	48			299
	※1 高松市民病院：精神病床、感染症病床、ドック病床を除く ※2 高松市立みんなの病院：感染症病床を除く (考え方) ・急性期医療機能の充実と地域包括ケアの後方支援						
③非稼働病 棟について、 今後の方向 性、構想との 整合性の確 保 (※)	(今後の方向性) ・非稼働病棟については、新病院の開院（9月1日）により解消予定。 (地域医療構想との整合性の確保) ・地域医療構想の進捗状況を踏まえ、将来目指していく方向性を随時検 討しながら、急性期医療の更なる充実を図るとともに、地域包括ケアの 後方支援を担っていく。						

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。

(平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休棟中、
休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等											
<p>①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割</p>	2025年における役割											
	がん	脳卒中	疾患 心血管	糖尿病	疾患 精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	
								○			○	
<p>※プラン等に記載された今後の役割について該当する項目に「○」を御記入ください。</p> <p>・地域包括ケアを進める中で、塩江地域の8割を占める隣接の高松市社会福祉協議会塩江のケアマネジャーと協働し、山間・へき地で生活する同地域住民の健康管理に努め、「地域まるごと医療」を基本方針として、地域住民が住み慣れた場所で暮らしていけるよう、訪問診療、訪問看護、訪問リハ等、多職種の医療スタッフによる訪問活動も積極的に取り組んでいる。また、療養病棟入院基本料1を取得しており、超高齢社会の進展に対応し、急性期病院などから在宅、老健施設への橋渡しの機能を担っている。</p>												
<p>②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数</p>	（内医療 67、介護 20）（床）											
		高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計					
	現在				87		87					
<p>③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保（※）</p>	2025年				(検討中)							
	<p>（考え方）</p> <p>・厚生労働省が廃止の方向を示している介護療養病棟の今後のあり方ほか、塩江分院の移転新築を控え、今後の塩江地域の状況（住民人口減少、入院患者数の動向等）を考慮する中で病床数の再検討を行っている。</p>											
	<p>（今後の方向性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （地域医療構想との整合性の確保） ・ 											

（※）③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。
（平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休棟中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等）

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等										
<p>①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割</p>	2025年における役割										
	がん	脳卒中	疾患 心血管	糖尿病	疾患 精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅
<p>※プラン等に記載された今後の役割について該当する項目に「○」を御記入ください。</p>			○								
<p>②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数</p>	(床)										
	現在	0	60	0	160	0	220				
2025年	0	0	60	160	0	220					
<p>(考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、急性期後から在宅復帰までの患者の受け入れが大半を占めることとなったため、急性期機能を見直し、地域の医療ニーズに沿った回復期病床への転換を決定した。 											

<p>③ 非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保 (※)</p>	<p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>(地域医療構想との整合性の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
--	---

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。
 (平成 29 年度病床機能報告において報告した平成 29 年 7 月 1 日時点の医療機能を「5 休棟中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等																																
<p>①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割</p>	<p>2025年における役割</p> <table border="1" data-bbox="411 448 1378 618"> <thead> <tr> <th>がん</th> <th>脳卒中</th> <th>疾患心管</th> <th>糖尿病</th> <th>疾患精神</th> <th>救急</th> <th>災害</th> <th>へき地</th> <th>周産期</th> <th>小児</th> <th>在宅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※プラン等に記載された今後の役割について該当する項目に「○」を御記入ください。</p> <p>・本院は、特定機能病院として高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修の実施、更に都道府県がん診療連携拠点病院、救命救急センター、災害拠点病院、総合周産期母子医療センター等として構想区域を超えた香川県全体の医療を支える役割を有している。</p>											がん	脳卒中	疾患心管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
がん	脳卒中	疾患心管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																							
<p>②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数</p>	<p style="text-align: right;">(床)</p> <table border="1" data-bbox="411 1068 1356 1216"> <thead> <tr> <th></th> <th>高度急</th> <th>急性期</th> <th>回復期</th> <th>慢性期</th> <th>休床</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td>581</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>587</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td>587</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>587</td> </tr> </tbody> </table> <p>(考え方)</p> <p>・本院は特定機能病院であることから、すべての病床を高度急性期と位置付けている。</p>												高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計	現在	581	0	0	0	6	587	2025年	587	0	0	0	0	587	
	高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計																											
現在	581	0	0	0	6	587																											
2025年	587	0	0	0	0	587																											
<p>③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保(※)</p>	<p>(今後の方向性)</p> <p>・休床の6床については、病院再開発が終了した平成31年度より稼働する。</p> <p>(地域医療構想との整合性の確保)</p> <p>・</p>																																

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。

(平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休床中、休床後の再開の予定なし、休床・廃止予定」と報告した医療機関等)

「香川大学医学部附属病院公的医療機関等2025プラン」による。

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等										
<p>①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割</p>	2025年における役割										
	がん	脳卒中	疾患 心血管	糖尿病	疾患 精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅
	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△
<p>②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数</p>	(床)										
		高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計				
	現在	209	288	0	0	79	576				
2025年	218	298	0	0	0	516					
	<p>(考え方) 平成20年(2008年)に検討を開始した高松赤十字病院整備事業も2020年の新東館(仮称)完成、並びに本館と中央診療棟の改修完了をもって概ね終了し、2025年に想定される病床は全て整備される。病院整備事業開始前の許可病床601床からダウンサイズを行い、516床での運用を予定している。救急病棟20床、ICU6床、HCU12床、NICU3床の他に医療資源投入量が多くICU/HCUへの行き来も多い4病棟の病床を加えた218床を高度急性期病床とし、残りの298床全てを急性期病床として運用する。</p>										

<p>③ 非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保 (※)</p>	<p>(今後の方向性)</p> <p>現在、高松赤十字病院整備事業を継続中であるが、2020年4月に新東館(仮称)が完成し、引き続き本館と中央診療棟の改修を行い、翌2021年度には南館及び管理棟の解体並びに外構整備が完了することにより病院整備事業が終結する計画である。これにより本館、中央診療棟、並びに新東館(仮称)の計516床を運用して診療を行う計画である。この時点で当院の休床は無くなることになる。</p> <p>(地域医療構想との整合性の確保)</p> <p>当院は今後も急性期・高度急性期医療並びに専門的医療、先進的医療を担う地域の中核病院として、全ての病床を急性期病床または高度急性期病床として運用していく。</p> <p>全体の病床数としては高松赤十字病院整備事業開始前の許可病床601床、平成30年8月の時点での許可病床576床から516床へのダウンサイズを行うことになる。</p>
--	--

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。
(平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休棟中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等																																
<p>①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割</p>	<p>2025年における役割</p> <table border="1" data-bbox="411 448 1385 622"> <thead> <tr> <th>がん</th> <th>脳卒中</th> <th>疾患心血管</th> <th>糖尿病</th> <th>疾患精神</th> <th>救急</th> <th>災害</th> <th>へき地</th> <th>周産期</th> <th>小児</th> <th>在宅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※プラン等に記載された今後の役割について該当する項目に「○」を御記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんは発症予防及び拠点病院と連携した治療を、脳卒中は発症予防及び身体機能を回復させるリハビリテーション機能を、心筋梗塞は予防から、救護、急性期、回復期までの機能を、そして、糖尿病は初期・安定期治療から、専門医療、慢性合併症治療、急性増悪時治療を行う。 ・高松医療圏における第二次救急輪番病院として、済生丸による島嶼部巡回診療をとおしたへき地医療拠点病院として、そして、災害医療では広域救護病院としての役割を担う。 ・周辺では子どもが増えていることから、一般小児診療はもとより、感染症小児疾患等に力を注ぐ。また、在宅療養支援病院として、急変時への対応を担う。 ・生活困窮者のための無料低額診療事業を継続する。 											がん	脳卒中	疾患心血管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	○	○	○	○		○	○	○		○	○
がん	脳卒中	疾患心血管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅																							
○	○	○	○		○	○	○		○	○																							
<p>②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数</p>	<p style="text-align: right;">(床)</p> <table border="1" data-bbox="411 1240 1359 1393"> <thead> <tr> <th></th> <th>高度急</th> <th>急性期</th> <th>回復期</th> <th>慢性期</th> <th>休床</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td></td> <td>148</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td></td> <td>148</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td>198</td> </tr> </tbody> </table> <p>(考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期病床の一部を地域包括ケア病床へ転換することについて、院内で検討を行っている。 												高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計	現在		148		50		198	2025年		148		50		198	
	高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計																											
現在		148		50		198																											
2025年		148		50		198																											
<p>③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保(※)</p>	<p>(今後の方向性)</p> <p>現在、非稼働病棟はなし</p> <p>(地域医療構想との整合性の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 																																

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。

(平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休床中、休床後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等										
①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割	2025年における役割										
	がん	脳卒中	疾患 心血管	糖尿病	疾患 精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅
②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数	(床)										
	現在	10	216	53	0	0	0	279			
③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保 (※)	2025年	10	216	53	0	0	0	279			
	<p>(考え方) 2016 (平成 28) 年 11 月、許可病床 1 割 (31 床) 削減により 279 床 (全て一般、急性期病床) とした新築病院に移転、同年 12 月 ハイケアユニット (高度急性期) 10 床、回復期リハビリテーション病棟 (回復期) 22 床に変更、2017 (平成 29) 年 5 月 地域包括ケア病棟 (回復期) 31 床に変更、計画を完了した。</p>										

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。
(平成 29 年度病床機能報告において報告した平成 29 年 7 月 1 日時点の医療機能を「5 休棟中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等										
<p>①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割</p>	2025年における役割										
	がん	脳卒中	疾患 心血管	糖尿病	疾患 精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅
	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	<p>※プラン等に記載された今後の役割について該当する項目に「○」を御記入ください。</p>										
	<p>・次の1)~7)を担当したいと考える。1) 附属健康管理センターにおける健診等で発見される消化器癌、乳癌等の待機的治療、2) 脳血管、心血管疾患については、高度超急性期施設へのトリアージと、脳血管・心大血管疾患リハビリの提供による回復期医療、3) 健診等で発見される糖尿病予備群、糖尿病患者に対する保健指導、リスク管理と合併症の予防・診断・治療、4) 地域の高齢者の転倒・骨折に対する脳外科的、整形外科的手術と回復期リハビリ、誤嚥性肺炎等の高齢救急患者に対する急性期治療と、嚥下障害・廃用症候群に対するリハビリ及び地域包括ケア病棟での地域への復帰支援、5) 災害時における広域救護病院としての任務、6) 小児医療では高松市内の学童健診、夜間急病診療所支援の輪番を担当。7) 附属訪問看護ステーションを拠点とした在宅診療。以上、当院は主に、急性期医療の一部（待機的/定型的外科手術及び高齢者救急）と回復期医療を担う病院として、他の機能の施設との効率的な連携のもと、役割を果たして行きたい。</p>										
<p>②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数</p>	(床)										
		高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計				
現在	0	120	79	0	0	199					
2025年	0	120	79	0	0	199					
	<p>(考え方)</p> <p>・当院は既に、急性期病床の一部を、回復期病床に変更している。院内完結型から地域完結型へという基本的考え方に適合すべく、急性期のうち、高度医療を要するものは高度急性期病床のある急性期病院へのトリアージに徹し、一方、地域で増加する高齢者救急疾患を主な対象に絞り、その急性期治療を行い、続いて、回復期病床を用いて、リハビリ・退院調整などを提供することにより、他の慢性期施設や地域社会（在宅、介護施設など）に橋渡しする役割を果たして行きたい。</p>										
<p>③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保 (※)</p>	<p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当せず <p>(地域医療構想との整合性の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当せず 										

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。
(平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休棟中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等																																
①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割	<p>2025年における役割</p> <table border="1" data-bbox="411 450 1391 622"> <thead> <tr> <th>がん</th> <th>脳卒中</th> <th>疾患心血管</th> <th>糖尿病</th> <th>疾患精神</th> <th>救急</th> <th>災害</th> <th>へき地</th> <th>周産期</th> <th>小児</th> <th>在宅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※プラン等に記載された今後の役割について該当する項目に「○」を御記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5疾病への対策として、死亡原因の上位を占める「がん」、「脳卒中」、「急性心筋梗塞」や重篤な合併症の併発で生命に脅威を与える「糖尿病」等に対し、一層の医療提供体制の充実を図る必要がある。 ・5事業の一つである救急医療（急性期機能の維持）を充実させ、発展させていく。特に高齢者の救急搬送のさらなる積極的受け入れを行う。 ・在宅医との連携をさらに深め、強化する。 											がん	脳卒中	疾患心血管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	○		○	○		○					○
がん	脳卒中	疾患心血管	糖尿病	疾患精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅																							
○		○	○		○					○																							
②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数	<p style="text-align: right;">(床)</p> <table border="1" data-bbox="411 1016 1359 1160"> <thead> <tr> <th></th> <th>高度急</th> <th>急性期</th> <th>回復期</th> <th>慢性期</th> <th>休床</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td>6</td> <td>127</td> <td>46</td> <td></td> <td></td> <td>179</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td>6</td> <td>127</td> <td>46</td> <td></td> <td></td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table> <p>(考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も急性期医療をコアに病院運営をして行くために急性期機能は維持する。 ・香川県は糖尿病患者が全国でも上位に位置していることから、人工透析室の拡充等、一層の医療提供体制の充実を図る。 ・5疾病・5事業に対応すべく手術室の拡充等救急医療に必要な機能を整備する <p>二. 急性期医療における重症度、医療・看護必要度の厳格化並びに人口構造において高齢化が進むことを踏まえ、地域包括ケア病棟（46床）を平成30年1月に導入し、病院運営する。</p>												高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計	現在	6	127	46			179	2025年	6	127	46			179	
	高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計																											
現在	6	127	46			179																											
2025年	6	127	46			179																											
③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保（※）	<p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>(地域医療構想との整合性の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 																																

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。

(平成29年度病床機能報告において報告した平成29年7月1日時点の医療機能を「5 休床中、休床後の再開の予定なし、休床・廃止予定」と報告した医療機関等)

新公立病院改革プラン、公的医療機関等2025プランを踏まえた
今後の医療機関としての役割等について

議論の論点	医療機関の役割等										
<p>①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割</p>	2025年における役割										
	がん	脳卒中	疾患 心臓血管	糖尿病	疾患 精神	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅
<p>②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数</p>	(床)										
	現在	高度急	急性期	回復期	慢性期	休床	計				
<p>③非稼働病棟について、今後の方向性、構想との整合性の確保(※)</p>	(今後の方向性)										
	<p>・現在、増床した療養介護施設 25 床のうち、10 床を休床としているが、2022 年を目途に稼働したいと考えている。</p> <p>(地域医療構想との整合性の確保)</p> <p>・地域医療構想では脳性麻痺等の重症心身障害者の需要についてはふれられていないが、潜在的な待機者は存在することから、2025 年頃には、増床した療養介護施設 25 床が満床になると予測している。</p>										

(※) ③の記載対象・・・病棟が全て稼働していない病棟を有する医療機関が記入対象。
(平成 29 年度病床機能報告において報告した平成 29 年 7 月 1 日時点の医療機能を「5 休床中、休床後の再開の予定なし、休棟・廃止予定」と報告した医療機関等)